

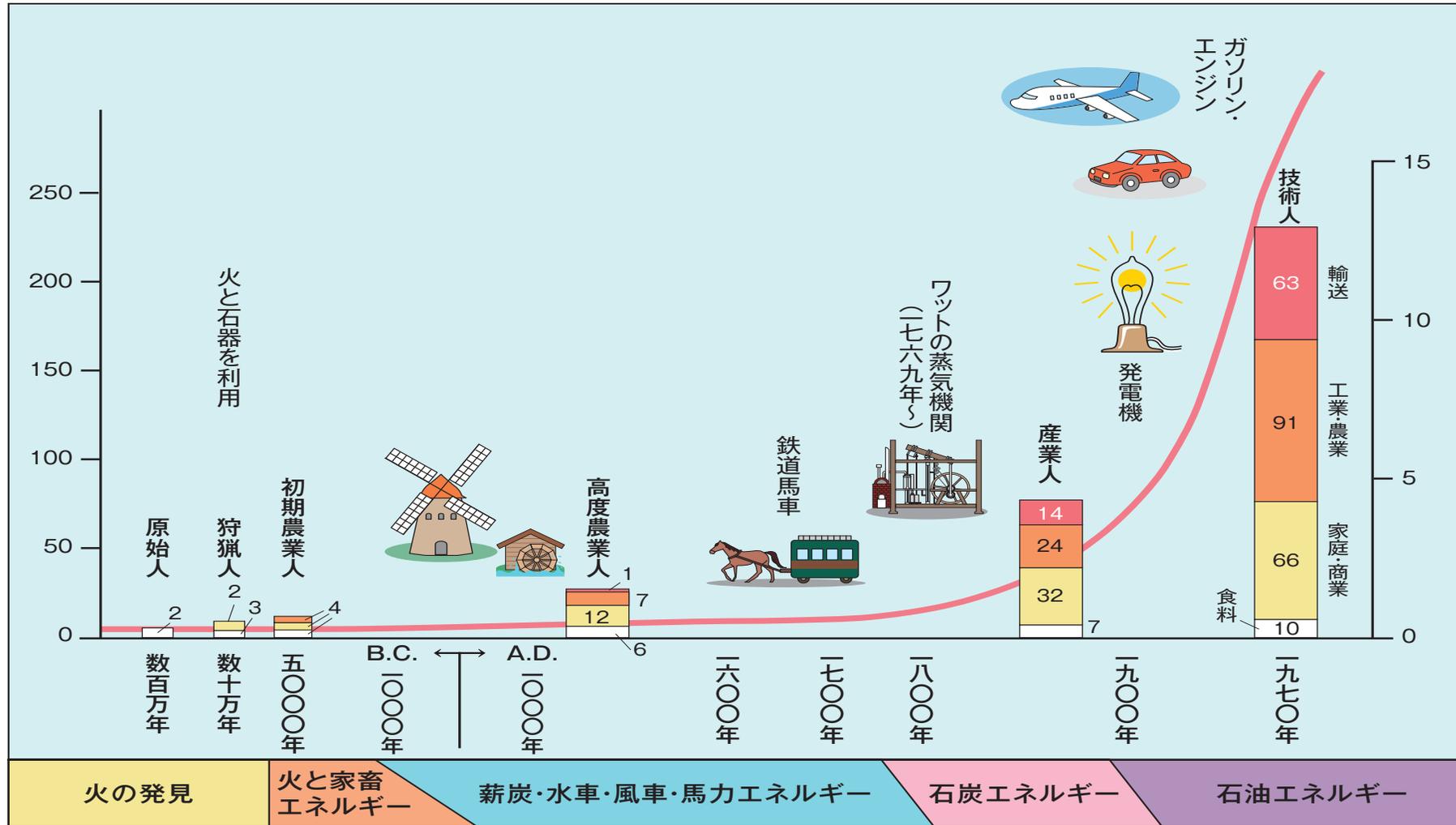
フォーラム 1

# 教会とエネルギー

私達の生活の基本であるエネルギーは、教会、または私達の信仰とどのような関係があるか。

# 人類とエネルギーのかかわり

一人あたり消費量(二〇〇〇キロカロリー/日)・棒グラフ



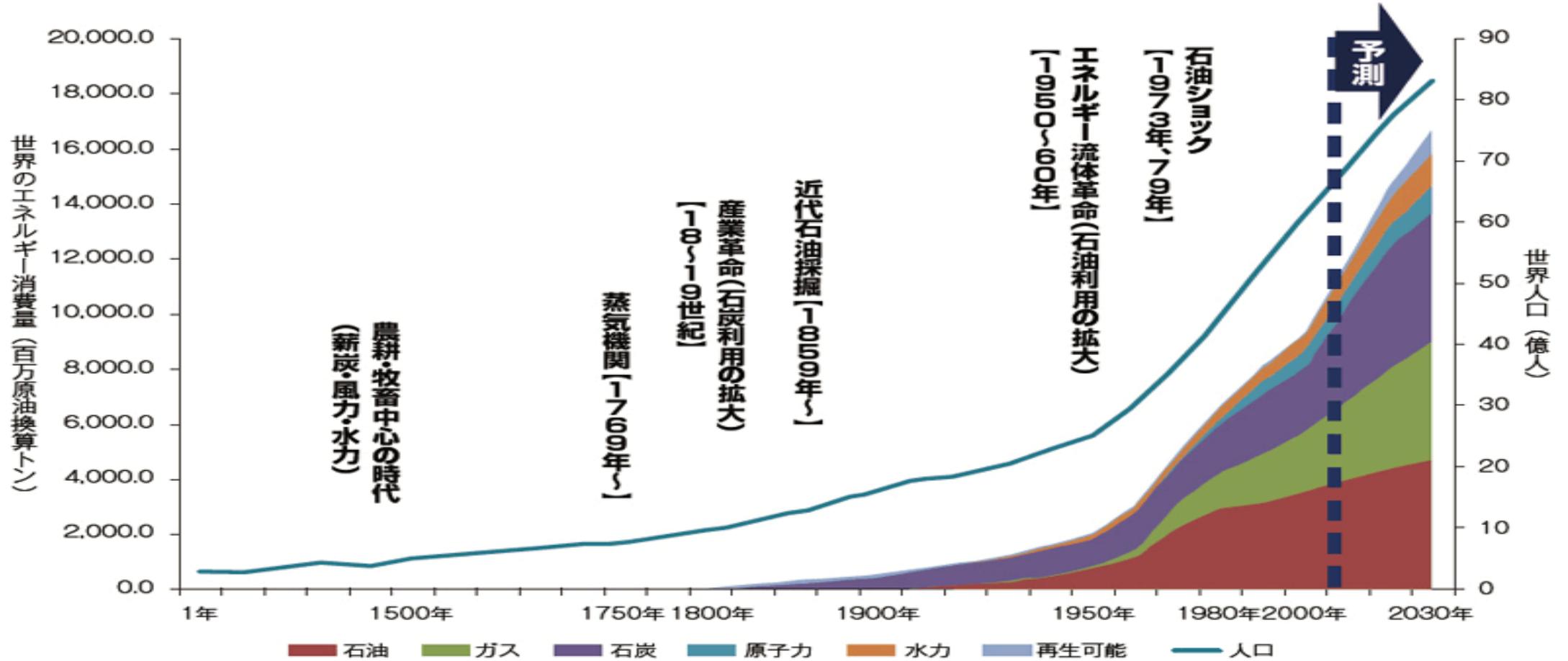
石油換算消費量(二〇〇万キロリットル/日)・曲線グラフ

原始人 百万年前の東アフリカ、食料のみ。  
 狩猟人 十万年前のヨーロッパ、暖房と料理に薪を燃やした。  
 初期農業人 B.C.5000年の肥沃三角州地帯、穀物を栽培し家畜のエネルギーを使った。

高度農業人 1400年の北西ヨーロッパ、暖房用石炭・水力・風力を使い、家畜を輸送に利用した。  
 産業人 1875年のイギリス、蒸気機関を使用していた。  
 技術人 1970年のアメリカ、電力を使用、食料は家畜用を含む。

出典: 総合研究開発機構「エネルギーを考える」より作成

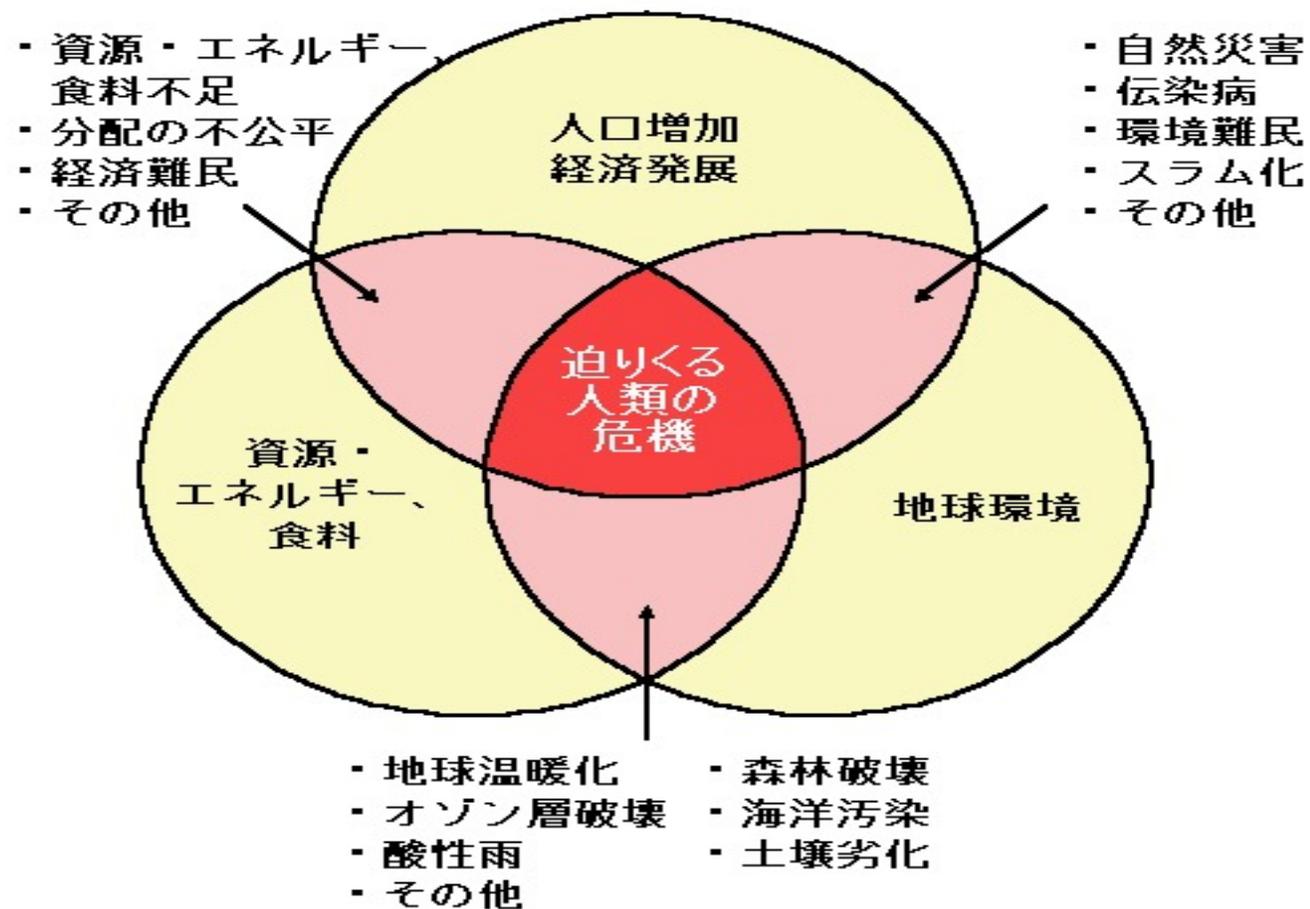
【第111-1-1】世界のエネルギー消費量と人口の推移



】  
(出典)

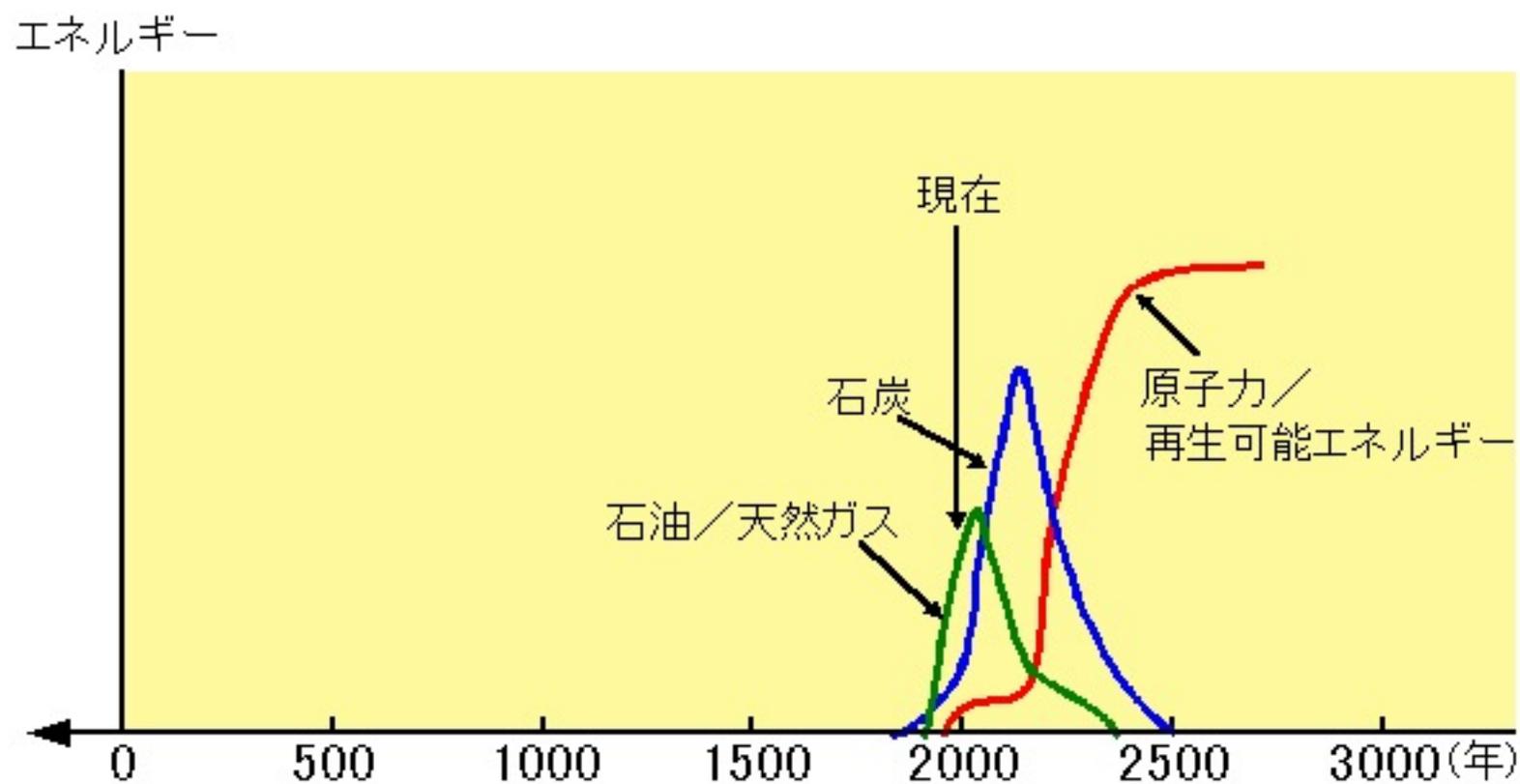
United Nations, "The World at Six Billion"  
 United Nations, "World Population Prospects 2010 Revision"  
 Energy Transitions: History, Requirements, Prospects  
 BP Statistical Review of World Energy June 2012  
 BP Energy Outlook 2030: January 2013

出典：資源エネルギー庁HP  
 エネルギー白書2013年



**図6 トリレンマ問題の構造**

[出典]電力中央研究所(編):次世代エネルギー構想-このままでは資源が枯渇する-、電力新報社(1998年10月) p.53



## 図7 一瞬としての化石エネルギー時代

[出典] 電力中央研究所(編): 次世代エネルギー構想 - このままでは資源が枯渇する -、  
電力新報社(1998年10月) p.43

# 教会は原発とどのように向合ってきたか

## 福島第一原発事故(2011年3月)以前

「原発は安全である」との安全神話を受け容れ、原発を受容して来た。

チェルノブイリ原発事故の先例に学ぶ事をしなかった。

事故による被曝の影響に目をつぶり「いのち」の危機に対する警告を発しなかった。

## 福島第一原発事故(2011年3月)以降

被災者支援活動(聖公会は「いっしょに歩こう!プロジェクト」(2年))

「いっしょに歩こう!プロジェクト・パートII」(3年))

ニュースレター「いのちの川」発行

小冊子「原発Q&A」発行

第59回(定期)総会決議表明(2012年5月23日)

「原発と放射能に関する問題プロジェクト」

ニュースレター「いのちの海と空と大地」発行

福島の子ども達の保養プログラムの継続

日本国内外への発信

「原発のない世界を求める国際協議会」の開催(2019年5月)

# 教会は社会に何を発信できるのか どのような責任があるのか

No！原発、 No！化石燃料

「いのちと核エネルギーは共存できない」をモットーに、  
地球上の全ての生物の掛け替えのない命 人間の尊厳を守る。  
すでに、「核エネルギー」「化石燃料エネルギー」に代わるクリーン  
な再生可能エネルギー技術が存在する。

集中、大容量発電所から分散電源にシフトする事による地域経済  
の活性化と柔軟な電力運用を実現する。

以上の施策を展開し、持続型社会の姿を具体的に提示する事。

# キリスト教会の立場表明

- \* カトリック教会 日本カトリック司教団メッセージ  
日本カトリック司教協議会  
地球という共通の家に暮らす  
すべての人へ  
「今こそ原発の廃止を」日本の  
カトリック教会の問いかけ
- \* 日本聖公会 第59(定期)総会決議  
原発のない世界を求めて
- \* その他多数の教派、教団から同様の声明が表明されている。

いのちの尊厳を守る。政治や経済の問題ではなく、地球に住む生きとし生けるもの全てのいのちの尊厳の問題である。いのちの尊厳を守るための倫理(道徳や哲学)が大切。

# 日本聖公会「原発のない世界をもとめて」活動の現状

2012年日本聖公会 第59(定期)総会決議

「神によって造られたいのちを脅かす」

「神によって創造された自然を破壊する」

「神によって与えられた平和な暮らしを奪う」

## 正義と平和委員会 「いっしょに歩こうプロジェクト」

### 原発問題プロジェクト

「神の民として正義を行うことへと召されていることを自覚し、平和の器として、世界の分裂と痛み、叫びと苦しみの声を聞き取ることの出来る教会へと変えられることを祈り求めます」

## カトリック司教協議会 常任司教委員会

2016年「教会は人間のいのちと尊厳に関する問題  
に沈黙できない」

# ドイツ・倫理委員会のレポートの内容

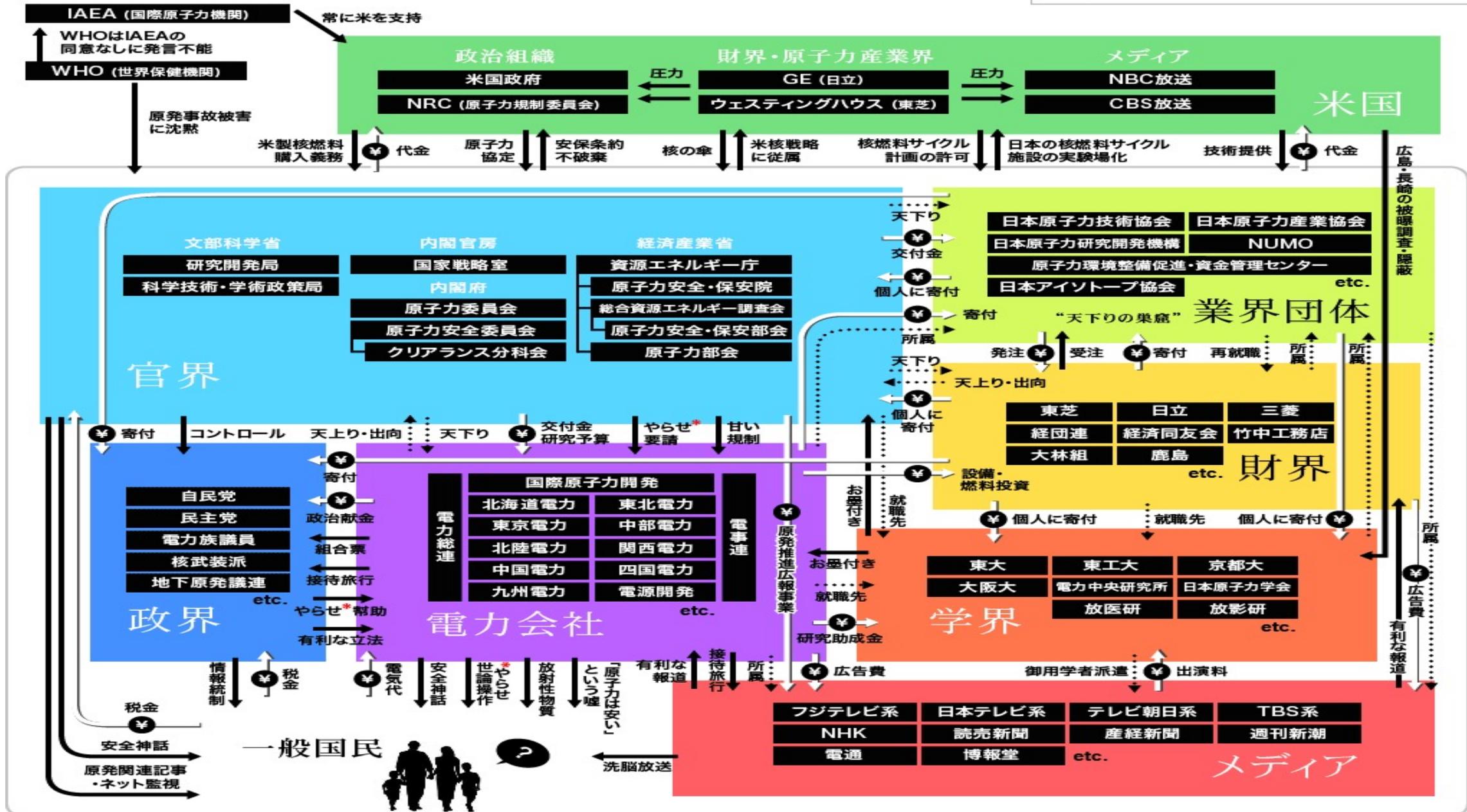
- 原子力発電所の安全性は高くても、事故は不可能ではない
- 事件になった場合はほかのどんなエネルギー源よりも危険である
- 次の世代に廃棄物処理などを残すのは倫理的問題がある
- 原子力より安全なエネルギー源がある
- 地球温暖化問題もあるので化石燃料を使うことは解決策ではない
- 再生可能エネルギー普及とエネルギー効率性政策で原子力を段階的にゼロにしていくことは将来の経済のためにも大きなチャンスになる

(ミランダさんの講演の原文のまま)

# 原子力村 癒着相関図

THE NUCLEAR POWER MAFIA'S COZY RELATIONSHIPS  
 AMONG THE NUCLEAR INDUSTRY, BUSINESS, POLITICIANS, BUREAUCRATS, ACADEMY AND THE MASS MEDIA  
 Version 3.1

情報の出典: 原子力村の住民一覧  
 NUCLEARPOWERMAFIA.BLOGSPOT.COM



## フォーラム1 : 教会とエネルギー

- ① 私たちにとってエネルギーとは何か
- ② エネルギーは私たちに何をもたらしているのか
- ③ エネルギーは私たちの信仰とどのような接点（関係）があるか
- ④ 信仰生活とエネルギー（問題）